

越前町議会・令和4年9月定例会一般質問【木村 繁議員】

(令和4年9月8日 午前10時52分 開始)

○13番(木村 繁君) 上川去地係の越前町営野球場の農道を挟んで西側に2ヘクタール、2丁以上の水田にお盆過ぎまでひまわり畑が存在しました。私も何回か、あの農道を通りましたが、いつも数名から数十名以上の人たちが、カメラあるいはスマホで写真を撮ったり景観を楽しんでおられました。お盆前の10日前後であったと思いますが、私たち夫婦もその景観を楽しんでいたら、若いカップルの方から、スマホのカメラを頼まれました。お返しに、その女性の方から私たち2人の写真をかみさんのスマホで撮っていただきました。後日、かみさんに「スマホの待ち受け画面にもしてるんか」と聞いたら、「何でせなあかんのや」と冷たい返事が返ってまいりました。年は取りたくないものです。小さな取組みかもしれませんが、このひまわり畑、立派に地域活性化に貢献していると私は思います。こういった取組みが地域に広がるのが、町の人口減少あるいは人口の増につながるものと期待をしたいというふうに思います。

それでは、議長のお許しを得ましたので、通告書に基づき一般質問をいたします。

初めに、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、通称B&G財団海洋センターについてお伺いをいたします。

当海洋センターは、大野市をはじめ、市では4つの市、町では当町をはじめ5町、合わせて5市6町に12施設が存在します。当財団は、本年6月に、独自の評価で、大野市B&G海洋センターが10年連続特Aだったとして、運営する市側に表彰状を贈ったそうです。財団によると、この評価制度は、全国465か所の海洋センターの活動を活発化させようと、2003年度から、毎年、イベントの開催状況、地元自治体との連携状況、利用者数などを6段階で評価するそうであり、当センターは、カヌーや水上スキー体験など、地域住民の健康に貢献する活動、財団主催の会議、研修会に積極的に参加することで、2020年度まで10年連続で特A評価で、2021年度も同じく特A評価を受けておられます。

なお、10年連続の特A達成は大野市が初めてで、同表彰を受けると、施設の改修の際に、財団から補助を3,000万円多く受けられるなどの利点があるそうです。当町の朝日B&G海洋センターも、ゲートボールコート、ペタンクのコート、ホッケー場の施設が隣接をし、周辺には、古墳公園や町立福井総合植物園プラントピアがあります。

そこで、お伺いをいたします。当センターの施設管理は管理公社ですが、行政として、当センターの運営及び活動状況並びに特A評価に向けての人材育成や町執行部の理解度について、町長の所見をお伺いをいたします。

次に、イルカの被害についてお伺いをします。最近、県内の複数の海水浴場で、野生のイルカが目撃され、海水浴のお客さんから、イルカにかまれたとの報告が相次いでいます。越前松島水族館によると、このイルカは、沿岸域を好むとされるミナミハンドウイルカと見られ、4月頃に福井鷹巣海水浴場で目撃され、その後、越廼海水浴場や当町の海水浴場にも出没をし、遊泳客の手足をかんだり、足元にまとわりついたりしたとのことであります。実際に手をかまれた人の中には、出血をしたという人もいるとの報道があり、越廼の海水浴場では、7月に対策として超音波発信機を水中に設置したそうです。

そこでお伺いをいたします。当町におけるイルカの被害状況、また、一過性かもしれないかもしれませんが、行政としての今後の対策について、町長の所見をお伺いいたします。

○議長（笠原秀樹君） 町長。

町長（青柳良彦君） 登壇

○町長（青柳良彦君） それでは、木村議員のご質問にお答えいたします。

まず、B&G海洋センターの運営、活動状況でございますが、本町のB&G海洋センターは、昭和58年に開設以来、多くの方に利用されてまいりました。近年では、令和元年度に7,208人の利用がありました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が減少し、令和2年度は5,058人まで落ち込みましたが、翌年には5,510人となっています。

海洋センターの維持管理につきましては、指定管理者である一般財団法人越前町公共施設管理公社が行っており、施設の予約や利用料の徴収、施設の維持管理等を行っています。

体育館等の施設の利用状況ですが、月に9から20団体、主にソフトバレーボール、空手、バスケットボール、バレーボールなどの定期利用団体が使用しております。そのほかのイベント活動につきましては、本町とえちぜんスポーツクラブと共催で、水辺の安全教室や水泳教室、カヌー教室を計7回実施しております。また、越前町スポーツ協会との共催で、春と秋のスポーツ大会などを開催し、施設の有効活用を図っております。

次に、人材育成でございますが、これまでも随時、町職員にB&G海洋性レクリエーション指導員のセンターインストラクター養成研修を受講させてきており、B&G海洋センター施設を拠点として、安心・安全な施設運営、地域住民に対する健康づくり、青少年への自然と触れ合う機会の提供などを行ってまいりました。今年度もスポーツ振興課職員に養成講座を受講させ、専門的な知識と資格を持ったリーダーを養成し、活動の幅を広げていきたいと考えています。

B&G財団では、青少年の育成並びに地域住民の健康増進などを目的とするB&Gプランを積極的に推進するために、現状の海洋センターの運営、管理面での長所・短所などを確認し、さらなる活動の活性化と効率運営を図るため、評価制度を取り入れています。評価の内容は、B&G指導者の配置や、B&Gへの貢献度、ソフト事業の活用など、評価を点数化する方法で、活性化や効率化が図られている海洋センターを、上位から特A、A、B、C、D、Eの6段階にランクづけしています。

現在、本町の海洋センター評価ランクはAとなっております。特A評価を取得するには、B&G財団のソフト事業を有効に活用し、ボード上に立ちパドルをこいで水面を進むサップ教室など、新たな教室を実施し、施設利用者数の増加を図る、財団のイベントに参加する、地域コミュニティの再生をするなど、従来の施設管理者の枠にとどまらず、将来を見据えた地域活性化を担う取り組みが必要となります。

本町といたしましては、こうした事業や教室に積極的に取り組み、地域住民の皆様にも、これまで以上に幅広い情報を提供し、また、意見やアイデアを取り入れることにより利用促進を図り、評価点が加点されるよう努力してまいります。

今後も、青少年の健全育成やスポーツ振興及び地域住民の健康づくりの拠点として、子どもから大人まで幅広く親しまれる施設を目指し、さらなるスポーツ環境の充実を図っていきたいと考えております。

次に、イルカ被害への行政の対応についてでございますが、イルカはふだんから沖合に生息し、浅瀬に居着くことなどはめったにないものですが、今年にあっては、海水浴場など我々の身近な場所にまで接近している事例が見受けられております。報道によりますと、1頭のかかなり人に慣れたイルカが、県内の沿岸位置に来ており、人とのじゃれ合いの中でかまれた人がけがをするといった事例が起きています。

本町の沿岸位置においても、イルカの日撃情報やイルカにかまれたといった報告があり、正確な件数までは把握できておりませんが、スキューバダイビングや海水浴、地元漁業者の採介漁の最中など、10件程度かまれた事例がございました。水族館でも人気のイルカとの遭遇は、遊泳者などには大変喜ばれ、温厚なイメージなどから、つい近寄ったり触ったりなどしてしまいがちとなっているようです。また、SNSなどでイルカが来る海水浴場などと拡散されたことで、イルカ目当てに本町の海水浴場を訪れる人たちが増えていると見られ、被害の拡大につながったものと推察されます。

こういった人的被害の対策といたしましては、テレビや新聞などの報道で注意が呼びかけられているほか、福井県警のメール配信サービス、リユピーネットによる注意喚起も行われております。また、本町では、最初にイルカの日撃情報が寄せられた7月27日からお盆までの期間に、越前地区におきまして、防災行政無による注意喚起を行うとともに、地元の観光協会や区長と協力し、海水浴場の入り口などに注意喚起の貼り紙を貼り、被害の防止に努めてまいりました。今年の海水浴シーズンは終わりましたが、スキューバダイビングはまだ楽しむことができます。また、来年にも同様なことが起きる可能性もございます。対策といたしまして、福井市の海水浴場で使用されたイルカよけ超音波発信機の設置を検討いたしました。その後、発信機では効果がないとの報道がありましたので、新たな対策を検討してまいりたいと思っております。

なお、現時点におきまして、本町も含めて、近隣の海水浴場における深刻な人身被害や、イルカの大量出現により漁業に甚大な被害を及ぼしたような事態には至っておりませんので、今後も出没状況に注視し、地元関係者と協力しながら、引き続き、遊泳者への注意喚起などの地道な対応を続けてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（笠原秀樹君） 木村 繁君。

○13番（木村 繁君） 的確にご答弁をいただき、ありがとうございます。

1点目の海洋センター、先ほど5市6町というように申し上げましたが、ちなみに県内の5つの市は、あわら市、坂井市の春江、丸岡、大野市、勝山市、福井市の美山の市です。町では、永平寺町松岡、池田町、嶺南の高浜、若狭町の三方、美浜町、そして、我が町の朝日B&G海洋センター、いわゆる12施設がございました。

この海洋センターの大野市の10年連続特Aは別格ですが、本町もAランク、2番目ということで、今後は、先ほど町長からご答弁があったとおり、青少年の健全育成、スポーツ振興及び健康づくりの拠点として、さらなるバージョンアップ、レベルアップをぜひともお願いをしたいというふうに思います。

次に、2点目のイルカの質問ですが、ここにきて、2、3日前のスマホでのニュースのことですけれども、2020年夏頃から隣の石川県珠洲市の沿岸に姿を見せた個体と同じイルカだとする見方が浮上したというふうに、スマホニュースで

見ました。背びれのきずが、どうも一致するそうであります。その珠洲市では、「すずちゃん」という愛称がつけられ、ある種のアイドル的存在になっているみたいなことです。水族館でのイルカショーは定番ですし、歌の「なごり雪」で有名な歌手、イルカさんという歌手がおられますし、前におられる若い理事さんの方々は御存じないかもしれませんが、ちょっと歌手名は忘れたんですけども、「イルカにのった少年」という、私の年代ではヒット曲があったように思います。福井のほうでは、今のところ悪者扱いですが、人間にとっては親しみやすいイメージがあります。皆さんもそうだと思います。来年は、あまりこちらに来ないで、珠洲市沿岸で「すずちゃん」のアイドルとして活動することを、個人的には願わずにはられません。

一応、私の所感を申し上げまして、これで一般質問を終わります。

(午前11時15分 終了)